

東日本大震災 震災孤児遺児応援 ワンコイン・サポーターズ 20,000 人プロジェクト

サポーター大募集!!

このプロジェクトは、震災発生時にお母さんのおなかの中にいた赤ちゃんが高校を卒業する 2030 年まで、すべての孤児遺児を対象に応援金をお贈りする活動です。

東日本大震災でお父さん・お母さんを亡くした子どもたちは 1,724 人。とても多くの子どもたちが、大切なお父さんやお母さんを亡くしてしまいました。

愛知ボラセンは、そういった子どもたちのために、何かできることはないのだろうかと考え、2011 年 4 月からこの取り組みを始めました。

19 年間継続して応援するために、応援して下さる皆さまの銀行口座から、私たちの銀行口座へ、毎月ワンコイン (500 円) をお送りいただきます。

サポーターの皆さまからお預かりした応援金とお気持ちを、年に 1 度、愛知ボラセンが直接子どもたちに届けます。2013 年 10 月末日現在で、4,288 人のサポーターさんから、6,866 口のワンコイン応援金をお預かりしています。

どなたでも無理なく被災された方々の応援を継続することができます。それがワンコイン・サポーターズ 20,000 人プロジェクトです。

何事も、継続していくということはとても難しいことです。しかし一回の応援では、彼らの心には寄り添うことはできません。

ずっと忘れないでいてくれる人がこんなにたくさんいる、その事実が、子どもたちを温かく包んでくれるのではないのでしょうか。

二児の母
副理事長 田中涼子



【震災孤児遺児応援金の届け方】

応援金は、被災三県の自治体、教育委員会や教育機関、保健所、医療機関、メディアなどを通じて、10 月～翌年 3 月にかけて広くお知らせし、孤児遺児の皆さまからお申し込みいただいています。また、これまでに申請いただいた方には直接お知らせしています。

そして、翌年の 3 月末までにサポーターの皆さまからお預かりした応援金を、申込人数で割り、毎年 6 月にお贈りしています。

皆さまの応援金は、振り込み経費 (約 14 万円) に充てさせていただく他は、すべて孤児遺児応援金に充てています。

会計は、監査の上、公式 HP、ブログで公開しています。メールアドレスをご登録いただいた方にはメールでお伝えしています。※メールアドレス登録にご協力ください。

でらええ～友だちつぐっぺえ 2013 笑顔プロジェクト in 石巻・十八成



1,724 人もの子どもたちが震災でお父さん・お母さんを亡くしてしまいました。とても多くの子どもたちですが、1 学年にすれば約 85 人。同じクラスに、同じ境遇の子どもがいる可能性はほとんどありません。

私たちは、同じ境遇の子どもたちが日頃抱えている様々な想いや悩みなどを話し合えるような人間関係を作り、深めることはとても大切なことなのではないかと考え、2013 年 3 月

から「でらええ～友だちつぐっぺえ 笑顔プロジェクト」をスタートさせました。

3 月には名古屋に、8 月には石巻市十八成浜に、孤児遺児の皆さまを招待し、同世代の愛知の学生がパートナーとなり、合宿をします。

生きることの辛さと、生きることを語る東北の学生たち。「いいかげんに生きてはいけない。生き残った自分たちは何かに生かされている。その何かは自分が決めることなんだ」

愛知の学生たちも学校での生き辛さを語ります。いじめに遭って自殺しようとしたと語る女子学生。ボランティアの話をすると内申点稼ぎと友だちにいわれ、ボランティアの話を学校でできなくなったと語る男子学生。

子どもたちはそれぞれの想いを語り、涙を流し、心の中から何かが流れ出ていきました。そして、心の中に大切なものが入っていきました。「今の自分にとってここは、安心して泣ける場所」と語る東北の学生たち。

同じ境遇の学生たち、そして東北と愛知の学生たちが、心を開き、辛さを語り、涙を流し、笑顔で関係を深める場。それが「でらええ～友だちつぐっぺえ 笑顔プロジェクト」です。

孤児遺児の皆さまに応援金を直接贈り、100 回を超える継続的な被災地ボランティアに、小学生から高齢者までのべ 7,000 人が参加をしている愛知ボランティアセンターだからこぞできるこの交流。これからも続けていきます。

応援金給付実績

	2011 年度	2012 年度
寄付金合計 (前年度繰越金含)	69,524,862 円	70,200,384 円
申請者数	947 人	1,073 人
応援金合計	66,480,000 円	64,670,000 円
手数料合計	136,535 円	144,120 円
次年度繰越金	2,908,327 円	5,386,264 円

※公立高校の授業料が無償であることを鑑み、私立高校へご通学の方を対象に 1 万円多く送金させていただきました。

リゾートトラスト(株)様から、2011年度、2012年度総額85,315,858円のご寄附をいただきました。

NPO法人・東日本大震災被災者応援愛知ボランティアセンター

東日本大震災被災者を応援すべく NPO 法人・東日本大震災被災者応援・愛知ボランティアセンターは、2011 年 3 月 17 日に発足した団体です。2011 年 8 月末までに約 4,000 人の方々からお寄せ頂いた春物新品衣類など約 6,000 箱の応援物資を、宮城県石巻市を中心に被災地に届けました。

現地ボランティアは、2011 年 8 月までは物資配布、瓦礫撤去などを実施。2011 年 9 月以降は“仮設住宅から孤独死を出さないお手伝いを”を目標として、宮城県石巻市牡鹿半島十八成 (くぐなり) 浜で、地域住民全員にお弁当を提供して、仮設住宅の談話室や、在宅の高齢者家庭でお話をうかがいながら、いっしょに食事をしています。こうした現地ボランティアも 2011 年 3 月 19 日の第 1 回目から 2013 年 10 月初旬までに 104 回実施しています。0 泊 3 日「弾丸ボランティア」の別名もあるこの現地ボランティアは、金曜日の夜に名古屋を出発し、土曜日終日活動し、夕方に現地を出発、日曜日の早朝に名古屋に帰ってきます。こうしたボランティア活動に小学生から高齢者まで幅広い年代ののべ約 7,000 人の方々に参加されています。

2013 年 9 月より、新たな取り組みとして、原発事故により全町民 (約 15,000 人) が避難している福島県双葉郡富岡町への応援活動の手始めとしてスタディーツアーも始めました。

また、2011 年新潟・福島豪雨、2012 年 9 月三重県紀宝町、2013 年 9 月福井県小浜市の豪雨水害ボランティアも実施しています。

発足当初から私たちは、常に現地での活動を通して、実績と信頼、人間関係を築き、その中で新たなニーズを拾い、次の活動につなげていっています。

その時、最も必要なことに全力で向かっていく、そんな私たちの活動がある被災者の方が「生きたボランティアだ」と言ってくださいました。愛知ボランティアセンターはこれからも、常に被災者の方々のニーズを出発点に、被災者のみなさんと一緒に進んでいきたいと考えています。

事務局長の久世は「一緒懸命」という言葉で、愛知ボランティアセンターの想いを現地ボランティアの皆さんとともに被災地に届けています。

運営にご協力ください

ワンコイン・サポーターズの運営には、印刷費・郵送料など、子どもたちへ応援金をお送りするための経費が必要です。

サポーターさんが安心して応援金を預け、その応援金に皆さまのお気持ちをのせて子どもたちへ届けられるように、また「でらええ～友だちつぐっぺえ」での子どもたち同士の交流活動を続けられるように、運営費のご協力をお願いします。

運営協力費：500 円 (一口)

※年に 1 度 3 月に送金下さい。

※ゆうちょ銀行【自動払込み】にご登録の方につきましては、応援金に合わせてお引き落としいただけます。

※運営協力費は 3 月以外にも随時お受付いたします。

ゆうちょ銀行

記号：12100

番号：13989841

口座名：被災者応援愛知ボランティアセンター
ワンコインサポーターズ運営資金

※他行からゆうちょ銀行への振込みの場合

支店番号：218

支店名：二一八 (ニイチハチ店)

口座番号：1398984